スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県 亘理町

自 治 体 名 ： 宮城県亘理町
担 当 課 名 ： 亘理町教育委員会生涯学習課
電 話 番 号 ： 0223-34-0511

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	73.60 ㎢
人口	32,780 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	853 人
部活動数	33 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	基本方針策定済

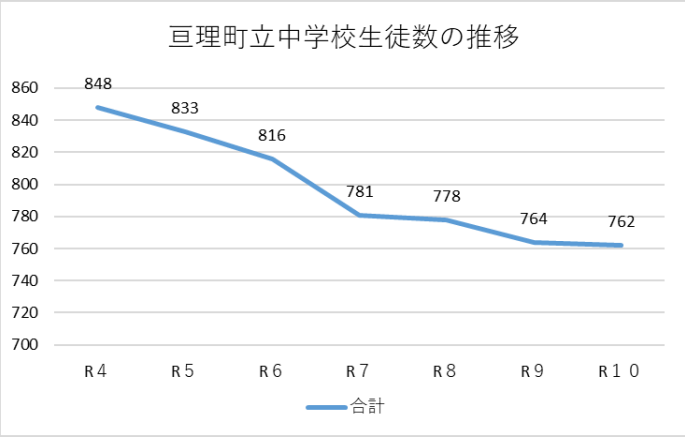
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町の運動部活動は、陸上、水泳、野球、サッカー、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、卓球、柔道、剣道の33の部が活動している。

少子化に伴い、近年、女子ソフトボール部が廃部し、男子軟式野球部も他の中学校と合同チームによる活動となり、団体種目に影響がでている。

深刻な少子化に伴い、中学校部活動の体制維持が困難となってきていることや、教師にとって中学校部活動は、大きな業務負担となっていること、中学校部活動を生涯教育の一環として捉え、持続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の体制確保が必要となっている背景を踏まえ、国・県のガイドラインにおきましては、「令和７年度末までを休日の中学校部活動の地域移行の推進期間とする。」と示されたことから、協議会等で生徒が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、環境の一体的な整備を推進する必要がある。

そこで、長年にわたり実施されてきた休日の中学校部活動に対する関係者の大きな意識の転換が課題である。



出典:亘理町立小・中学校再編に係る基本構想(R5.5月)

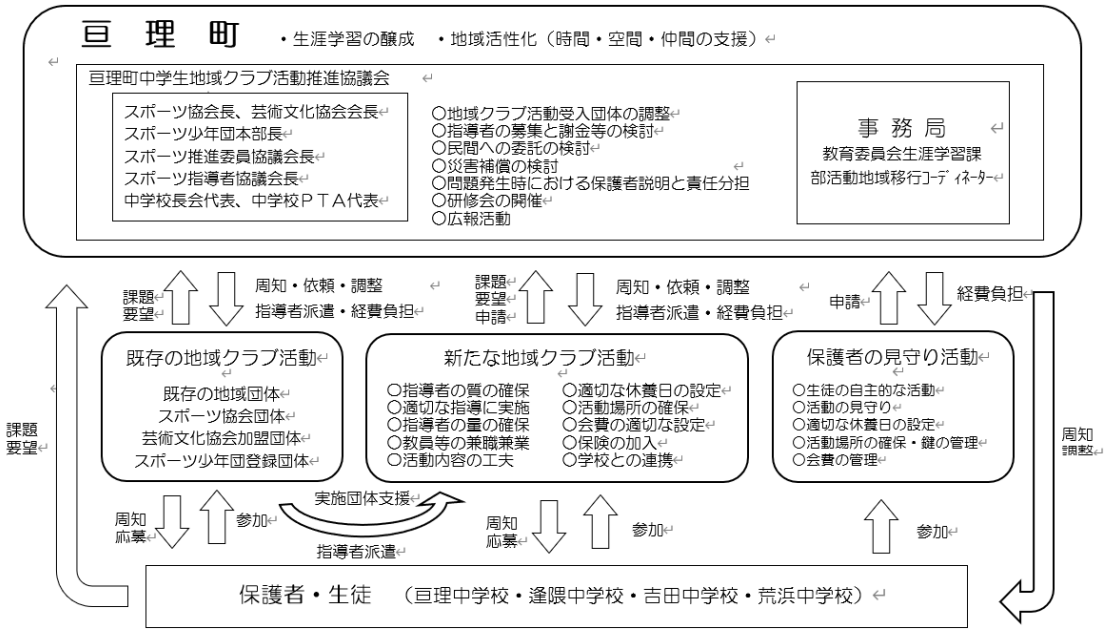
【課題】
・今後も生徒数の減少傾向が想定される。
・長年の部活動に対する関係者の大きな意識の転換

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制･役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
・生涯学習課…部活動地域移行の主幹、中学生の地域スポーツ活動の環境整備
・教育総務課…学校との調整・連携、学校に関する事項

◉首長部局
・企画課…庁内企画調整
・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年5月	地域移行保護者説明会
令和6年6月	協議会（第１回）
〃	生徒･保護者等アンケート調査
令和6年7月	協議会（第２回）
令和6年10月	指導者研修会
〃	町実証事業の開始
令和６年11月	協議会（第３回）
令和7年1月	生徒･保護者等アンケート調査
令和7年3月	推進協議会（第4回）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	7クラブ
全体の指導者数	11人		

②各クラブに関すること

	実施主体 「事業名」	会場	開始日 実施回数	日程等	募集範囲	参加(募集) 人数
ソフトテニス	亘理町教育委員会 「ソフトテニス教室」	亘理中学校 ﾃﾆｽｺｰﾄ	10/12 全 6 回	月 1 回　第 3 土曜日 9:00～12:00	町内中学校在籍生徒 及び町内在住の中学生	12(20)
卓球男 卓球女	亘理町教育員会 「卓球教室」	亘理中学校 体育館	10/19 全 6 回	月 1 回　第 1 土曜日 9:00～12:00	町内中学校在籍生徒 及び町内在住の中学生	18(20)
バドミントン男 バドミントン女	亘理町教育委員会 「バドミントン教室」	荒浜中学校 体育館	12/14 全 6 回	月 1～2 回　土曜日 9:00～12:00	町内中学校在籍生徒 及び町内在住の中学生	14(20)
バレーボール男	亘理町教育委員会 「バレーボール教室(男子)」	亘理中学校 体育館	12/21 全 4 回	月 1 回　土曜日 13:30～15:30	町内中学校在籍男子生徒 及び町内在住の男子中学生	9(20)
バスケットボール女	亘理町教育員会 「ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ教室」 (亘理中学校女子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部)	亘理中学校 体育館	12/14 全 13 回	毎週土曜日 ①8:30　②11:00　③13:30	亘理中女子ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部員	5(12)
野球	逢隈中学校野球部親の会 「逢隈中学校野球クラブ」	逢隈中学校 グラウンド	全 6 回	12 月 3 回、 1～3 月各月 1 回 土日どちらか 1 日	逢隈中学校生徒	12
バレーボール女	吉田中学校女子バレーボール部親の会 「吉田中学校女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙｸﾗﾌﾞ」	吉田中学校 体育館	11/9 全 10 回	月 2 回　土曜日 18:00～20:00	吉田中女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部員 山元中女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部員	12

2.実証内容と成果

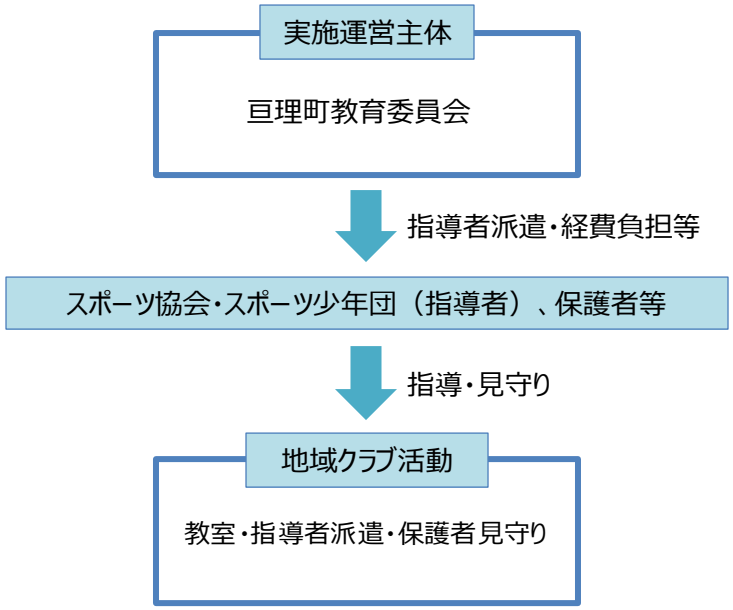
スポーツ庁

主な取組例

●地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス、卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、野球
運営団体名	亘理町教育委員会
期間と日数	地域スポーツクラブ活動の運営実績各クラブに関すること参照（P4）
指導者の主な属性	スポーツ協会・スポーツ少年団指導者・保護者等
活動場所	町内中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎等
１人あたりの参加会費等（年額）	会費なし（公費負担）
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険（公費負担） 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任（教育委員会）

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●主任指導者　11名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○指導者と生徒のニーズをマッチングするための部活動地域移行に関わるコーディネーターを配置し、協議会等により地域移行に向けた環境の一体的な整備に向け協議を行う。

○**令和7年10月以降は、休日の中学校部活動を実施しない**こととし、早い段階で地域移行が可能な種目（地域）等において、課題把握や問題整理のために、教育委員会が主体となり、モデル的に指導者派遣等の実証事業を実施する。

取組の成果

○部活動地域移行コーディネーターを教育委員会に配置したことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

○中学校及び保護者等との効果的な連携を図り、地域クラブの運営と中学校の連絡調整等を行うことができた。

○町の実証事業として、地域クラブへの参加希望の生徒と指導者とのマッチングにより、７クラブの活動をスタートすることができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【部活動地域移行コーディネーター】

・協議会の調整等を実施し、関係団体との連携に努めた。

・町実証事業による地域クラブ活動を開始し、学校、参加者、指導者への連絡調整を実施した。

今後の課題と対応方針

●中学校体育連盟の大会の今後の在り方や見直しによって大きく影響される。

●生徒及び保護者の意向を把握し、指導者確保を図りながら、地域移行が可能な種目の活動実施に向けた体制づくりを行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・スポーツ協会の競技団体・スポーツ少年団及び公募による指導者と面談により指導計画を調整する。

・指導者に対して、資質向上のための研修を、年1回開催する。

指導者確保の人数

17名

人材バンクの年齢構成

20代	1名
30代	3名
40代	5名
50代	2名
60代以上	6名

登録者属性

職業
・会社員 12名
・学生　1名
・その他　4名

種目

・野球　6名
・卓球　2名
・剣道　2名
・バレーボール　2名
・ソフトテニス　1名
・バスケットボール　1名
・バドミントン　3名

資格有無

・JSPO公認指導員
・中学校教諭

取組の成果

・指導者17名を確保した。

・地域の人材で信頼のあるスポーツ協会、スポーツ少年団等から指導者の確保ができた。

・年１回、指導者研修会を実施し、15人の参加があった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【地域クラブ活動指導者研修】

・対象：地域クラブ活動指導者として活動を希望する方

・目的：地域のスポーツ・文化芸術活動を担っていただく指導者の方々に、本研修をとおし中学生を適切に指導することのできる指導力の向上を目的とする。

工夫した点：宮城県が主催する指導者研修会の内容を参照しながら、地元体育大学の教授から指導いただく。

受講者の声

参加した地域クラブ指導者の声

「現在、中学校部活動の外部コーチを頼まれているが、これからの地域クラブの指導を行うにはどうしたらよいのか。」

⇒中学校の顧問、学校施設、参加生徒の調整を図り、地域クラブ活動へと展開できた。

指導者研修の参加実績

・開催日：　10月13日

・開催回数：　1 回

・参加人数：　15 人

演題：部活動地域移行に伴う地域クラブ活動の指導

講師：仙台大学こども運動教育学科長　教授　郡山　孝幸　氏

今後の課題と対応方針

○既にスポーツ少年団等の指導者資格があれば改めて研修を受講しなくとも良いのではないか等、資格全体の制度設計が必要と思われる。

○研修会受講後の有効期間の適正な設定。

○国の推進期間終了後の研修会の在り方。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

〇前記のア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備に同じ。

〇学校と連携して進めていくため、学校教職員や新入学保護者説明会、学年懇談会等において、本町の取組及び方針等の説明を実施。

取組の成果

〇学校や保護者の集まる機会等に訪問し、説明を行うとともに、町内中学校の全ての生徒に地域移行に関する資料配布やチラシによる周知を行った。

〇各地域クラブが活動するにあたり、各協会や団体からの指導者と活動計画を作成し、活動する開始日には保護者説明会を行い、指導者の指導方針や参加者の出欠確認など、円滑に活動が行えるよう環境づくりに努めた。

今後の課題と対応方針

〇指導者確保を図りながら、地域移行が可能な種目の活動実施に向け、指導者の確保や体制整備のため、スポーツ協会やスポーツ少年団等と今後とも連携強化を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

○地域移行が可能な種目（地域）等において、課題把握や問題整理のために、教育委員会が主体となり、モデル的に指導者派遣等の実証事業を実施する。

活動の詳細

参加人数	82人	指導者数	11 人
属性	教室活動、指導者派遣活動、保護者見守り活動		
具体的な内容	・町主催の各種教室の開催 ・地域クラブ活動に対する指導者の派遣（町が地域クラブと認める活動に対し指導者を派遣） ・保護者の見守り活動（中学生の自主的な練習を主体とした保護者の見守り活動）		
生徒の声	● 指導者の指導がわかり易く楽しく活動できた。 ● 他校生や指導者など多くの人と交流することができた。 ● 知識を深めたり、技能を高めたりすることができた。		
関係者の声	● しばらくは部活動と地域クラブが共存していく。相互に連携を図りながら体制整備をしていくことが大切である。 ● 参加者への個別対応が十分にできなかった。指導者と補助スタッフを配置する等、指導体制の充実が必要である。		
運営経費	人件費　3,641千円 諸謝金　　70千円 雑役務費　30千円 保険料　　34千円 合計　　3,775千円		

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

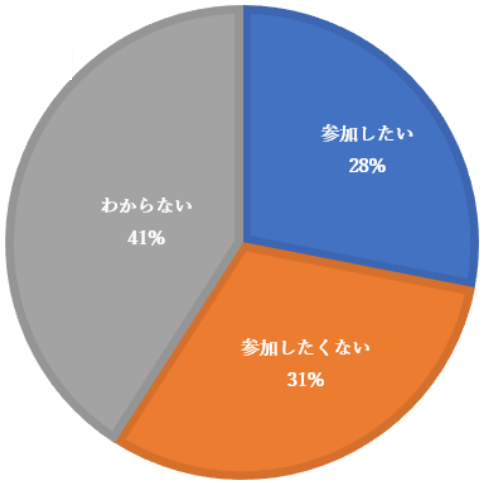
取組の成果

○令和6年6月に中学校部活動の地域移行に向け、児童・生徒・保護者のニーズを把握し、地域クラブの今後の計画推進のためアンケート調査を行った。対象は、小学6年生及びその保護者（回答率：児童60%、保護者55%）、中学校１，2年生及びその保護者（回答率：生徒69%、保護者37%）

中学生を対象としたアンケート結果によると、「休日（土日祝日）に亘理町で実施する地域クラブ活動に参加したいと思いますか。」の問いに対しては、①参加したい（28%）②参加しなくない（31%）わからない（41%）であった。

さらに、「参加しなくない理由は何ですか。」の問いに対して、①部活動だけに参加する（57%）②外部の団体に所属している（14%）③他にやりたいことがある（26%）その他（3%）であった。

休日（土日祝日）に、亘理町で実施する地域クラブ活動に参加したいと思いますか。



出典:亘理町中学生地域クラブ活動推進協議会

今後の課題と対応方針

○生徒の休日の活動における過ごし方が多様であることや休日の活動参加への考えが不確定であり、地域移行の制度の周知等も課題であると考えられ、地域クラブの体制づくりが必要である。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行なっていく必要があることから、地域移行が可能な種目（地域）等において、課題把握や問題整理のために、教育委員会が主体となり、モデル的に指導者派遣等の実証事業を実施する。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

・ホームページ構築費用（町HP利用）

■ランニングコストの分析

・人件費　3,641千円
・諸謝金　　70千円
・雑役務　　30千円
・保険料　　34千円

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算・収支バランス

学校部活動と実証事業の差額経費（指導者派遣料、保険料等）は、原則、教育委員会が負担することとしており、実証事業において課題整理等により、持続的な運営に必要な経費試算や体制づくりを行う。

取組の成果

○モデル的な実証事業（教室・指導者派遣・保護者見守り）により、現実味を帯びた課題等（会場費・用具・消耗品等）も確認できたため、今後、課題解決しながら、体制づくりに活かす。

今後の課題と対応方針

○実証事業の課題把握や問題整理等を踏まえて、協議会で検討・協議しつつ、参加者負担の在り方を整理していく。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

部活動地域移行コーディネーターを配置することにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

令和7年10月以降は、休日の中学校部活動を実施しない教育委員会の基本方針を示すとともに、学校や保護者の集まる機会等に訪問し、説明を行い、町内中学校の全ての生徒に地域移行に関する資料配布やチラシにより、長年にわたり実施されてきた休日の中学校部活動に対する大きな意識の転換について周知する努力を重ねた。

モデル的な実証事業（教室・指導者派遣・保護者見守り）により、課題等も確認できたため、今後、課題解決しながら、体制づくりに活かしていきたい。

●成果の評価

町の実証事業として、地域クラブへの参加希望の生徒と指導者とのマッチングにより、７クラブの活動をスタートすることができた事は大きな一歩となった。

また、地域の人材から指導者17名を確保することができ、町主催の指導者研修会にて地域スポーツ指導の在り方を周知することができた。

●今後に向けて

アンケート調査結果からも生徒の休日の活動における過ごし方が多様であることや休日の活動参加への考えがまだ不確定である事から、生徒及び保護者の意向を把握し、指導者確保を図りながら、地域移行が可能な種目の地域クラブ活動に向けた体制づくりを行っていきたい。

今後とも、生徒が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、環境の一体的な整備を推進する必要がある。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●部活動地域移行に関するアンケート調査結果

令和６年度

部活動地域移行に関するアンケート調査結果

中学校１・２年生　生徒・保護者

令和６年６月

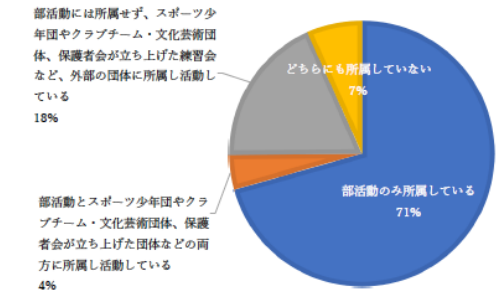
亘理町教育委員会

中学生

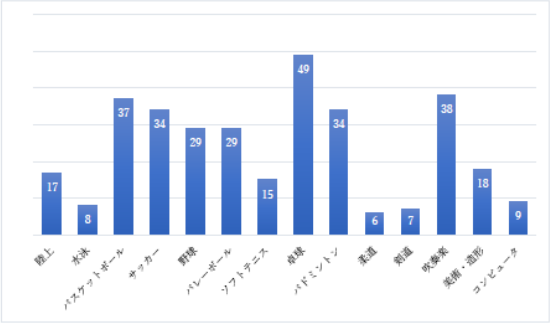
1　対象：亘理町立中学生 １・２年生 生徒

・回答率 ６９％

2　放課後の部活動等の所属について当てはまるものを選んでください。



○　所属している部活動名を選んでください。



- 1 -

出典:亘理町中学生地域クラブ活動推進協議会

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

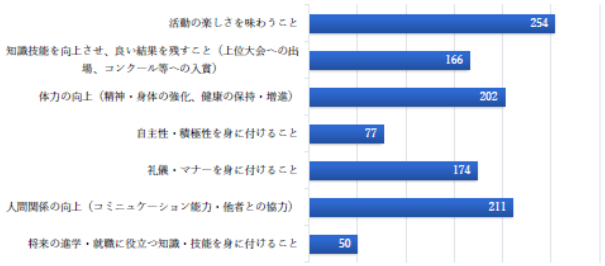
●部活動地域移行に関するアンケート調査結果

中学生

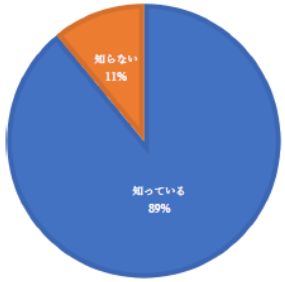
○ 種目は何ですか。

水泳 バスケットボール サッカー 軟式野球 硬式野球 バレーボール ソフトテニス
卓球 バドミントン 柔道 剣道 弓道 空手 ダンス 少林寺拳法

3 部活動で大切にしたいことは何ですか。4つ以内で答えてください。



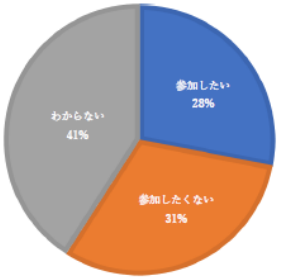
4 亘理町は、令和７年１０月から、休日（土日祝日）の部活動は実施しない方向で準備を進めています。あなたはこのことを知っていますか。



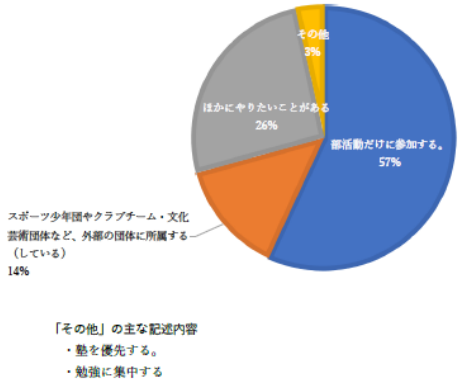
- 2 -

中学生

5 休日（土日祝日）に、亘理町で実施する地域クラブ活動に参加したいと思いますか。



○ 「参加したくない」と答えた人に聞きます。理由は何ですか。



「その他」の主な記述内容
・塾を優先する。
・勉強に集中する

- 3 -

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●部活動地域移行に関するアンケート調査結果

中学生

6　部活動と地域クラブ活動両方に参加したいと考えている人に聞きます。

（1）種目の選択はどのようにしたいですか



（2）どのような人たちと活動したいですか。



7　亘理町で実施する地域クラブ活動に参加するとしたら、どのような種目があればよいと思いますか。やってみたいと思うもの（スポーツ・文化芸術活動の種目）書いてください。

サッカー（14）　バレーボール（14）　卓球（13）　野球（12）　水泳（10）　バスケットボール（9）
バドミントン（8）　美術（8：美術 6 造形 2）　陸上（6）　吹奏楽（6）　柔道（5）　ダンス（4）
剣道（3）　華道（3）　テニス（2）　茶道（2）　ソフトボール（2）　弓道（2）
その他記述のあったもの
体操（1）　新体操（1）　硬式野球（1）　相撲（1）　空手（1）　テコンドー（1）　合気道（1）
演劇（1）バレエ（1）自転車競技（1）eスポーツ（1）フットサル（1）乗馬（1）チアダンス（1）

- 4 -

中学生

8　地域クラブ活動に期待することは何ですか。4つ以内で答えてください。



- 5 -

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

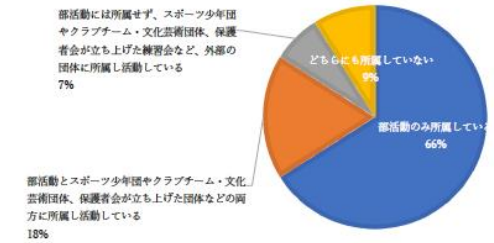
●部活動地域移行に関するアンケート調査結果

中学生保護者

1　対象：亘理町立中学生　1・2年生　保護者

・回答率　３７％

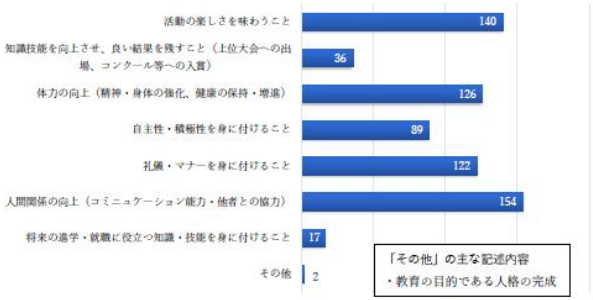
2　放課後の部活動等の所属について当てはまるものを選んでください。



○　種目は何ですか。書いてください。

バスケットボール、サッカー、軟式野球、硬式野球、バレーボール、ソフトテニス、卓球
バドミントン、柔道、剣道、弓道、空手、スポーツチャンバラ

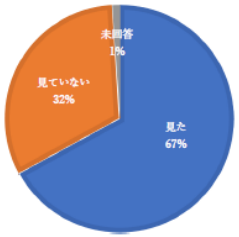
3　部活動で身に付けさせたいことは何ですか。４つ以内で答えてください。



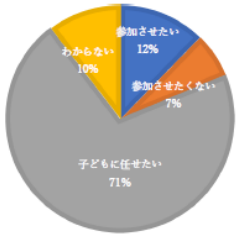
- 6 -

中学生保護者

4　町ホームページに掲載している「亘理町中学校部活動地域移行に係る基本方針」をご覧になりましたか。



5　休日（土日祝日）に、亘理町で実施する地域クラブ活動に参加させたいと思いますか。



○　「参加させたくない」と答えた方に伺います。理由をお書きください。

・休日は家族と一緒に時間を共有して欲しい。
・休ませたい。自由な時間として使って欲しい。
・塾や、クラブチームでの活動がある。
・金銭面の負担、送迎等が大変
・地域クラブ活動の環境整備がなされていない。

- 7 -

2.実証内容と成果②

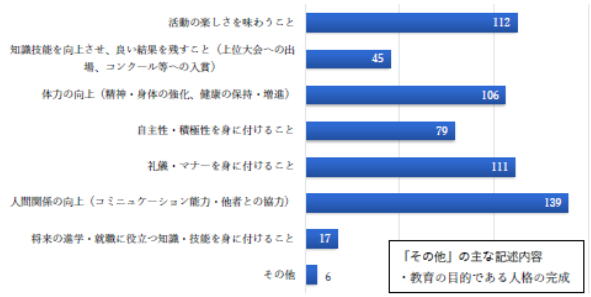
スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●部活動地域移行に関するアンケート調査結果

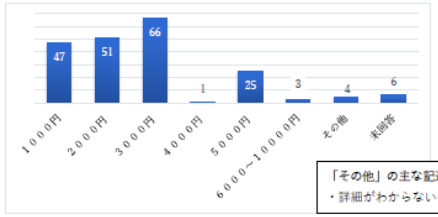
中学生保護者

6　地域クラブ活動に期待することは何ですか。4つ以内で選択してください。



「その他」の主な記述内容
・教育の目的である人格の完成

7　休日の地域クラブ活動（スポーツ・芸術文化活動）にお子さんが参加する場合、参加費等（月額）はいくらまで負担できますか。



「その他」の主な記述内容
・詳細がわからないので決められない。

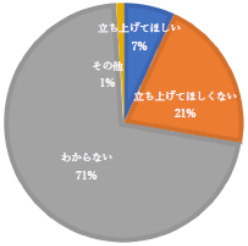
8　亘理町で実施する地域クラブ活動に参加させるとしたら、どのような種目（スポーツ・文化芸術活動）に参加させたいと思いますか。

陸上（19）　バレーボール（16）　バドミントン（16）　野球（15）　水泳（14）
バスケットボール（12）　卓球（11）剣道（7）　吹奏楽（7）　サッカー（4）　ダンス（4）
テニス（4）　美術（4）　プログラミング（4）　弓道（3）　柔道（2）　パソコン（2）　音楽（2）
合唱（2）　書道（2）　陶芸（2）　ソフトボール（2）
その他記述のあったもの
クライミング（1）、ゴーカート（1）、太鼓（1）、ピアノ（1）、セーリング（1）、ハンドボール（1）、eスポーツ（1）、英会話（1）、手話（1）、空手（1）、茶道（1）、ボルダリング（1）

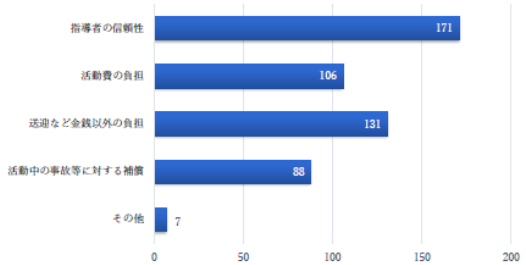
- 8 -

中学生保護者

9　保護者会が主体となって地域クラブ活動を立ち上げることについてどう思いますか。



10　地域クラブ活動を行う上で、重要だと思うことをすべて選択してください。



「その他」の主な記述内容
・参加者の意欲
・指導者の確保
・問題が起こった時の責任の所在と対応方法
・活動の内容

- 9 -

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

【生徒・保護者等への啓発チラシ】

亘理町の小・中学生、保護者の皆さまへ

中学校部活動の地域移行について
令和７年１０月から
休日の中学校部活動が地域の活動へ
移行されます

※中学校部活動とは、現在中学校で行われている部活動のことです。
※学校部活動とは、移行後に、平日のみ（ハイシーズンを除く）中学校で行われる部活動のことです。
※地域クラブ活動とは、中学校部活動の受け皿となり、地域で行われる休日のスポーツ・文化芸術活動のことです。

休日の中学校部活動の地域移行が始まります

中学校部活動の地域移行とは、中学校部活動を、学校の活動から地域の活動（地域クラブ活動）に移行していくことです。中学校部活動で行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で支えていこうという取組です。

令和６年度から、休日の中学校部活動を、少しずつ地域クラブ活動に移していきます。令和７年１０月からは、休日の中学校部活動は行わず、地域クラブ活動を優先して行えるようにします。

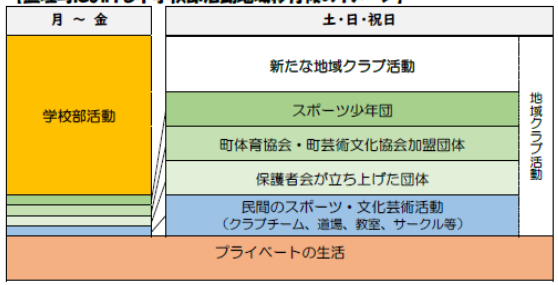
令和６年度は、中学校部活動で行っていた数種目を、地域クラブ活動として実施（実証事業）します。今後、種目数を増やし、自分に合った活動を選び、参加できるようにしていく予定です。

なぜ、中学校部活動を地域へ移行するのですか？

少子化等の影響により、全国的に中学校部活動はこれまでどおりの活動が困難となってきており、その状況は今後さらに進んでいくものと想定されています。そのような中で、今後も、子どもたちが多様なスポーツや文化芸術に親しむことができる環境を確保していくことが重要となっています。また、働き方改革による教員の多忙解消についても課題となっています。

そのため、亘理町では、令和６年度から休日の中学校部活動を、実施可能な種目から段階的に地域での活動に移行し、令和７年１０月からは、学校単位での中学校部活動は原則平日のみとし、休日は、中学校部活動を行わず、地域でスポーツ・文化芸術活動ができるようにしていくことを目指していきます。

【亘理町における中学校部活動地域移行後のイメージ】



出典:亘理町中学生地域クラブ活動推進協議会

【新たな地域クラブ活動】
種目（スポーツ・文化芸術）ごとに参加を希望する生徒が集まって活動します。
【スポーツ少年団】
現在あるスポーツ少年団に中学生が入団して活動します。
【町体育協会・町芸術文化協会加盟団体】
現在ある町体育協会・町芸術文化協会の指導の下、活動します。
【保護者が立ち上げた団体】
部活動の保護者会が立ち上げた団体に所属して活動します。
【民間事業者】
クラブチームや道場、教室、サークル等で練習したり、週末だけクラブチームや道場、教室、サークル等で練習したりします。
【プライベートの生活】
地域の活動等には参加せず、家族で外出したり、家で休養や勉強をしたり、ボランティアに参加したり、学習塾（スクール）に通ったりします。

【亘理町の新たな地域クラブ活動（スポーツ活動）の休日参加のイメージ】

	４月中旬	６月	８月下旬	１０月	３月
地域クラブ活動	地域クラブ活動調整期間	地域クラブ活動実施期間	地域クラブ活動調整期間	地域クラブ活動実施期間	
学校部活動	学校部活動 ハイシーズン	仙南ブロック中体連	学校部活動調整期間	学校部活動 ハイシーズン	仙南ブロック新人大会	学校部活動調整期間

※ハイシーズンは、体連関係大会、各種コンクールの前に活動日を増やすことができる１か月程度の期間です。
※平日はこれまでどおり、学校ごとに部活動を行います。
※地域クラブ活動は、種目ごとに、実施期間や実施回数、調整期間を設定します。

◆◆ 実証事業を始めます。 令和6年8月～令和7年9月末 ◆◆

令和6年度の実証事業では、どんな取組をするのですか？

・令和６年度内に、モデル的に数種目の地域クラブ活動を行います。
・亘理町教育委員会が指導者を派遣するなど取組を行います。
・休日の中学校部活動を調整し、地域クラブ活動を優先して行う期間を設けます。
・実証事業に係る指導者派遣料、保険料等は、町が負担します。

※上記の内容については、今後変更となることもあります。詳細は、随時、町のHP等でお知らせしていきます。右の二次元コードより亘理町の「中学校部活動地域移行に向けた取組」をご覧いただけます。

<お問い合わせ先>　亘理町教育委員会生涯学習課
亘理郡亘理町字悠里１番地
電話　0223-34-0511



2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【ソフトテニス教室】



【卓球教室】



【野球部指導者派遣】



【バレーボール保護者見守り】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年	令和５年		令和６年		令和７年
検討会設置、検討開始	▶ 協議会設置	▶ 学校現場との調整	▶ 生徒、保護者への説明	▶ 地域クラブ活動の開始	▶ 地域クラブ活動の拡大

ステークホルダー

学校、生徒・保護者、スポーツ協会、スポーツ少年団
町教委、部活動地域移行コーディネーター

経過

令和4年度より検討会を設置し、国のガイドラインを踏まえて、学校と教育委員会の検討を開始した。
令和5年度に協議会を設置し、学校・PTA・地域スポーツ団体等で地域移行について協議し、休日の中学校部活動の地域移行に関する教育員会の基本方針を策定した。
令和６年度は、部活動地域移行コーディネーターを配置し、実証事業における地域クラブの活動を開始した。

実施内容

●10月以降、ソフトテニス、卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、野球の7クラブで実証事業による地域クラブ活動の取組を開始した。

実施にあたって生じた課題

休日の地域クラブ活動において、指導者の確保が課題である。
ニーズはあるが指導者がいないために実施できない種目がある。
実施中の種目でも個別対応を充実させるためには、指導スタッフの増員等、指導体制の整備が必要である。

今後の展開

令和7年10月以降は、休日の中学校部活動を実施しないことから、生徒の意向やニーズを確認しながら、休日の地域クラブ活動の体制整備が急務となる。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

関係者	地域移行への取組み	R5年度	R6年度	R7年度（9月まで）	R7年度（10月以降）
中学校	○平日の学校部活動	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○休日の学校部活動	→ → →	→ → →	→ → →	
	○実証事業への協力	→ → →	→ → →	→ → →	
	○保護者間の話合いへの協力	→ → →	→ → →	→ → →	
	○関係者との協議への協力	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
生徒及びその保護者	○生徒及びその保護者の話合い	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○保護者間の話合い	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○関係者との協議	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○実証事業への協力	→ → →	→ → →	→ → →	
	○地域クラブ活動				⇒ ⇒ ⇒
亘理町教育委員会等	○生徒及びその保護者への説明会	→ → →	→ → →	→ → →	
	○地域クラブ活動への意向調査	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○実証事業	→ → →	→ → →	→ → →	
	○保護者間の話合いへの協力	→ → →	→ → →	→ → →	
	○関係者との協議	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○指導者の確保	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒
	○指導者の研修	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒